

第三 本邦船舶増減の現況

(一) 登録船舶増減率 (第二表)

年次	船舶の種類	現存船舶数	各前年未比増減率
明治三十九年	汽	一、四九二	七四、九八八
明治三十九年	帆	四、〇四四	一一、〇一四
明治四十年	汽	一、五七四	一四、三二一
明治四十年	帆	四、二一〇	一、九五〇
明治四十一年	汽	一、六一八	三、七四八
明治四十一年	帆	四、五二五	一、五五五
明治四十二年	汽	一、六五三	二、四八二
明治四十二年	帆	四、八二九	一、五五五
明治四十三年	汽	一、七〇三	三、四一七
明治四十三年	帆	四、九五八	一、三九二
明治四十四年	汽	一、八五四	五、四六六
明治四十四年	帆	五、五八六	二、七五〇
大正元年	汽	一、九八一	一、九二七
大正元年	帆	六、四四三	二、八五七
大正二年	汽	二、〇七二	六、二八八
大正二年	帆	七、三三三	一、六〇〇
大正三年	汽	二、一三三	三、〇〇〇
大正三年	帆	七、九三三	一、五九七

年次	汽	帆	噸
大正四年	二、一三二	一、六〇四、九〇〇	二、七、八七五
大正五年	八、六五六	五、四二、五七九	二、九、三三三
大正六年	二、一五九	一、六九六、六三一	九、一、七三一
大正七年	九、三二四	五、八五、五九三	四、三、〇一四
大正八年	二、一七二	一、七一九、四二二	二、二、七九〇
大正九年	一、〇三二	六、四一、九五六	五、六、三六三

右表に依れば本邦登録汽船の増加は大正三年迄の平均は毎年總噸數に於て二、三三、〇三二噸其の増加率一六・〇となる。故に此割合に依るときは大正六年末には二、一七八、〇〇噸、大正十年末には二、九九四、〇〇噸となるべし。大正四年度には積算改測ありて一般に總噸數を減じ尙五年、六年に於て新造船著しく増加せしめ海外輸出も亦多く結局全體の増加率は大差なきを見るべし唯此間帆船の増加著しきは特に注目し得べし尙以下に本邦船舶の増減を來すべき主なる原因に付研究せむとす。

(二) 船舶の移動

4. 内國造船統計 (第三表)

年次	汽船(二十噸以上)		帆船		噸數	噸數	噸數	噸數
	船數	噸數	船數	噸數				
明治四十年	三	三三九	一	一	三三九	一	一	三三九
明治四十一年	三	二、五七五	一	一	二、五七五	一	一	二、五七五
明治四十二年	六	六、二五五	三	三	六、二五五	三	三	六、二五五